

水の安全を守る下水道

柳 興 希

小郡市立 立石小学校

ぼくは、宝満川浄化センターを見学に行つて、下水道の役わりは、いろいろあることを知りました。

一つ目は、下水道は、よごれた水たまりをなくして清潔にできることができます。なぜなら雨水ますや排水こう、雨水管のおかげで水たまりをなくし町のきれいを保つことができます。

二つ目は、大雨による浸水などの災害を防ぎ町を守ることです。どういう事かという排水こうなどで雨水を少なくして町の安全を守ることができ被害を軽減することができます。

三つ目は、下水道は汚れた水を安全なきれいな水にすることができ、どうやってきれいにするというと、使った水をそのまま流すと川や海などをよごして自然にもよくないからです。だから下水道できれいに流します。

四つ目は、下水道できれにした水は、川や海、湖をよごさず自然を安全に守ることができます。それは、汚水を流すと自然が汚れてしまいます。でもそれらにくらべて安全できれいだから自然を汚さず、地球にもやさしいのが、下水道です。このように下水道には、さまざまな役わりがあります。

次は、汚れた水をきれいにする下水道のしくみを説明します。

まず、使った水は公共汚水ますで、ポンプ場という所まで流します。そしてポンプ場に流れたら汚水をくみあげて沈砂池に来たら汚水

中の大きなゴミや土砂を沈めてとりのぞきます。下水処理場の心ざう部に水を流します。

まず、最初沈殿池に流されます。そこは、汚水をゆるやかに流して小さなゴミや泥を下に沈めます。次に、反応タンクで汚水に微生物の入った活性汚泥という薬を入れて混ぜ、空気を吹き込んでよごれを沈みやすくすると場所です。そしたら流された水は、最終沈殿池にきます。どういふ所かというとき反応タンクで薬物を入れて大きなかたまりになったゴミや泥を沈めて、上ずみを流します。最後に水質検査で処理した水がきれいになって川に流せるかどうかといねいに検査して消毒設備で塩素で消毒してから放流口で川や海などにきれいにした処理水を流します。これが宝満川浄化センターのよごれた水をきれいにする設備と仕方です。

しくみの後は、川や海をよごさないためと水を大切に使うために自分達ができることです。

まず、川や海をよごさないためには、ゴミを川、海に捨てることは、しない事です。なぜならゴミを捨てる自然もよごれます。それにごみをエサだと思つて食べてそれを人が食べると人にもえいきょうするのでゴミを捨てることは、しないでください。

次に、水を大切に使うためには、油をふきとる、食べのこしをへらす、または、流さないなどを意識すると水をあまり汚さず大切に使うことができます、と思います。

ぼくは、宝満川浄化センターで下水道の役わりを知つて水を大切にします。